

踏切用列車検知装置 (SA形)

概要

踏切用列車検知装置 (SA形) は、踏切道進入側と進出側に各1個ずつ設置する検知子間の車軸 (車輪) 数をカウントし、車軸数が不一致している場合に“列車在線”、車軸数が一致している場合は“列車非在線”の出力を行うものです。

軌道短絡による列車検知を踏切制御に用いている場合、「あおり」を防止するため、普通は進出検知後の動作時素を設定しています。このため、列車速度が速いほど踏切道を通りしてから警報停止までの列車移動距離が長くなり、時間の長さが顕著に表れます。

これに対して、車軸検知方式は、「あおり」がないため動作時素を確実に不要とすることができます。これにより全体的な警報時間を短縮することで長時間の連続遮断の要因を抑えることができます。

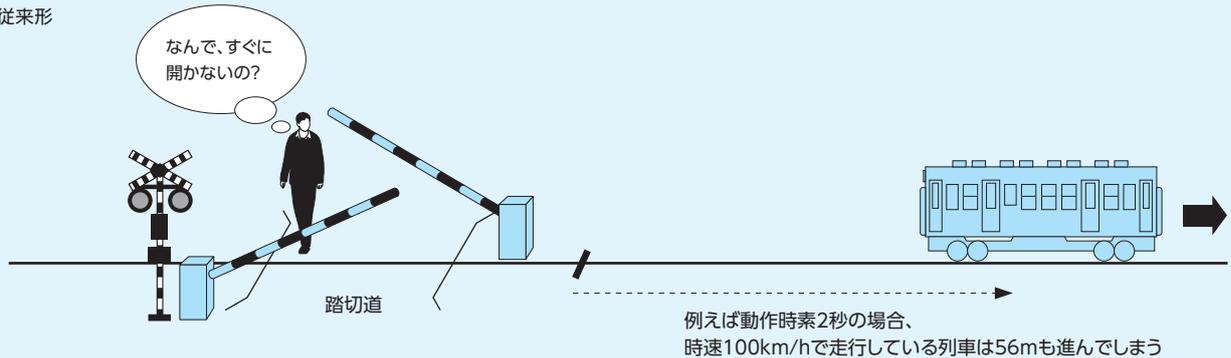
特長

- 電磁遮蔽効果を利用して車軸 (車輪) を検出しており、列車の短絡感度の影響を受けないため、安定した車軸 (車輪) 検出が可能。
- 車軸検知レベルを自動的に補正することにより、環境要因による電圧変動の影響を受けにくい。
- 検知子設置後の調整が、直流電流のみであるため施工性に優れている。
- 車軸検知装置と整合器間の距離を最大で300mまで延長することが可能であるため、設置場所の制約が少ない。

仕様

検知子使用周波数	33kHz・36kHz
検出速度	130km/h 対応
車軸検知装置 処理方式	マクロ同期式マイコンによる処理
車軸検知装置 外形寸法	W298mm×H216mm×D236mm

従来形



SA形

